

実現が第一。

この地の声と日本の未来に責任

英敬 9 柱 2026

1. 「1人1人の『使えるお金』や手取りを増やし、暮らしに安心と希望を」

生活者目線での物価高対策や飲食料品の消費税ゼロ実現に向けた取組、現役世代・若者・中間層に光をあてた社会保険料軽減・所得税抜本改革、低・中所得世帯に手厚い支援を行う「給付付き税額控除」導入を推進します。実質賃金プラスで毎年手取りや使えるお金が増えていく社会に。

2. 三重県南部の「希望と安心」

南海トラフ巨大地震等に備え、「徹底した防災・減災対策と国土強靱化」を推進。近畿自動車道紀勢線の早期整備・4車線化、東海南海連絡道路等の整備への機運再醸成、宇治山田港堤防整備など「三重県南部の社会資本整備」を加速。「地域医療」、郵便局やガソリンスタンド等の地域ネットワークを守ります。「持続可能&もうかる農林水産業」「離島・中山間地の振興」を推進。運営行事やG7伊勢志摩サミット10年等を契機とした「観光再生」を進めます。

3. 「国のカタチ」

一憲法・皇室典範改正、人口減少対策、東京一極集中是正

自衛隊明記や緊急事態条項など憲法改正の早期発議、古来例のない男系継承の重みを踏まえた皇室典範改正に尽力。人口減少対策や、首都機能のバックアップ体制構築等で東京一極集中是正を推進。東京都の超過税収の地方分配を進めます。

「責任ある積極財政」で、物価高からみなさまの日々の暮らしを守り、「強い経済」を実現します。

私すぎ英敬は、地域の皆様のおかげで、現在、高市政権を自民党の「ど真ん中」で支える仕事をさせていただいています。将来の日本と皆様の日々の暮らしに責任を持ち、政策を決断・実現できるのは、唯一自民党であり、私もその一員です。今後も「政治の父」である故・安倍晋三元総理の遺志も継いで、三重県知事時代に皆様から育てていただいた決断力と実行力で、国民の皆様と地元のため、働いて、働いて、働いてまいります。

すぎ英敬
ホームページはこちら



Youtube, X, Instagram, Facebook
各種SNSはこちら



7. 「教育立国」「少子化対策・子育て支援」

条件不利地域での教育格差是正、教員確保・処遇改善、教育DX、理科・情報教育、特別支援教育、いじめ・不登校対策を推進。子育て世帯の収入増等、多子世帯の高等教育無償化拡大、出産費用軽減、こども性犯罪防止を進めます。

8. 全ての世代が安心できる持続可能な社会保障

医療・年金・介護など全世代が安心できる社会保障制度を構築。医療等人材の賃上げと環境改善、現役世代の社会保険料軽減、「年収の壁」見直し、創業・安定供給に資する業種制度、感染症危機対応、認知症対策を進めます。

9. 「政治改革・党改革」—政策実現のための大前提—

多党化やSNS拡散が進んだことを踏まえ、選挙制度と政治資金制度の改革を推進。被選挙権年齢引下げも推進。実績重視の人事と広報改革で自民党の信頼回復と世代交代を進めます。

自民党

前・衆議院議員
自民党政調会長特別補佐
前・三重県知事



プロフィール

昭和49年8月15日生まれ。
東京大学卒業後、通商産業省（現経済産業省）に。平成23年、当時全国最年少36歳で三重県知事就任（3期）。令和3年、衆議院議員選挙初当選（三重4区）。令和4年、内閣府大臣政務官を拝命。令和6年、衆議院議員選挙2期目当選。自民党政調会長特別補佐、総務部会長、日本成長戦略本部・外国人政策本部・デジタル・サイバーセキュリティ・創業等の事務局長等の多数の役職に就任。妻はアーティスト・スウィミング五輪メダリストの武田美保。一男一女。

すぎ英敬

えいけい

暮らし

平和

人権

自維政権と正面から対決し、自民党政治そのものを変える

国民のためにブレずにはたらく

大株主・大企業応援から国民の暮らし第一の政治に

- 中小企業の支援と一体に最低賃金1500円以上を目指す
- 賃上げと一体に週35時間労働制を目指す
- 消費税廃止を目指し、緊急に5%に減税、インボイス廃止
- 社会保障の削減路線をやめさせ、拡充にきりかえる
- 教育への公的支出を増やし、教育費の負担軽減を
- 原発の再稼働・新増設反対し“原発ゼロ”を目指す
- 大企業や富裕層に応分の負担を求め、軍事費削減で財源を確保

憲法9条にもとづく外交の力で平和をつくる

- トランプ政権にひとことも批判できない“アメリカいなり”外交から自主的平和的外交に切り替える
- 国連憲章と国際法に基づく平和の国際秩序をつくる外交に取り組む
- GDP比3.5%＝21兆円の軍事費増額に反対し、軍拡増税をやめさせる
- 非核三原則の放棄を許さず、核兵器禁止条約への参加を求める
- 安保法制の廃止、集団的自衛権の容認を撤回
- 対話と協力の外交で平和な東アジアをつくる

ジェンダー平等をすすめ、個人の尊厳が大切にされる社会に

- 選択的夫婦別姓、同性婚の法制化を実現
- 男女の賃金格差の是正にむけて、企業に賃金格差実態の公表の拡充を求め、格差是正の計画策定を義務づける
- 差別と分断をあおる極右・排外主義の政治に断固として反対する

詳しい政策はコチラから全文がご覧になれます



プロフィール

津市生まれ。小学校3年生まで伊勢市で育つ。高田高校卒、茨城大学大学院農業研究科修了。津市議を1期4年。参議院三重選挙区、衆議院三重4区に立候補。現在、日本共産党南部地区委員長

日本共産党

中川

なかがわ

たみひで

58歳

『もっと』手取りを増やす — 「政策実現野党」に力を —

1 「もっと」手取りを増やす

- 社会保険料負担の軽減
- 所得制限の完全撤廃、住民税控除額の引き上げ
- 再エネ賦課金を廃止し、電気代値下げ
- 経済状況が好転するまでの間、消費税を一律5%に
- 軽油取引税の暫定税率廃止



3 人づくりこそ、国づくり

- 教育国債発行で子育て・教育・科学技術予算を倍増
- 不登校児童とその家庭への総合的支援を推進

4 正直な政治を貫く

- 徹底した企業団体献金の透明化
- 議員定数削減を伴う抜本的な選挙制度改革を推進

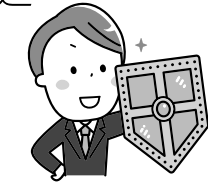


5 地方の産業育成

- 地方の産業を支える農林水産業・中小企業に対する対策強化

2 自分の国は、自分で守る

- 海外に頼らない強靱な国内サプライチェーン（供給網）の構築
- 海洋資源であるレアアース採掘やガス田開発の推進
- 南海トラフ地震や首都直下型地震等への防災減災対策強化
- 我が国の領土・領海・領空を守り抜く



ふじた大助は地域の声を国政に届けるため、再び挑戦します！

ホームページと各種SNSにて情報発信中!!



ホームページ



X



YouTube



ふじた大助 プロフィール

- 1976年 9月 度会郡玉城町に生まれる
- 2000年 3月 法政大学経営学部卒業
- 2005年10月 (株)エフ・ワイ 代表取締役
- 2009年 8月 第45回衆議院議員選挙にて当選
- 2018年 3月 (株)エフ・ワイ 代表取締役

国民民主党

ふじた大助

三重県第4区衆議院議員候補

だいすけ

第51回衆議院議員総選挙 第27回最高裁判所裁判官国民審査

投票日は2月8日(日)

投票の方法

小選挙区選挙 は **候補者氏名** を記入します。

比例代表選挙 は **政党等名** を記入します。

最高裁判所裁判官国民審査 は

やめさせたいと思う裁判官には上の欄に × を記入します。

やめさせなくてよいと思う裁判官には何も記入しません。

【期日前投票】2月7日(土)まで

※投票日当日に投票できない方は、期日前投票制度の積極的なご利用をお願いします。

「私たちの明日のために、想いをのせた一票を。」

三重県選挙管理委員会マスコットキャラクター



いっぴよん

三重県選挙管理委員会

※障がいなどで自書することができない方には係員が代筆する「代理投票」、視覚に障がいのある方には「点字投票」の制度があります。希望される方は、投票所で係員にお申し出ください。

※選挙公報は、音訳版・点訳版も作成しています。必要な方は、県選挙管理委員会又は市町選挙管理委員会までお問い合わせください。

※投票所へは、介護をする方等と一緒に入ることができます。

※投票所入場券が届いていない場合や紛失した場合でも、選挙人名簿に登録され、選挙権がある場合は、投票できます。
詳しくは、市町選挙管理委員会までお問い合わせ下さい。

選挙管理委員会連絡先一覧

